

第2回疾患細胞生物学研究会

開催日時

平成30年 9月12日(水) 17:00~18:30

開催場所

先端酵素学研究所A棟 1階セミナー室

プラス鎖RNAウイルス感染によって誘導される ウイルス複製オルガネラ形成の分子機構

森田 英嗣 博士

弘前大学農学生命科学部分子生命科学科 准教授

[近年の主要論文] *Cell Reports* (2016) 16, 2339-2347

J Cell Biol (2013) 203, 115-128

Cell Host Microbe (2011) 3, 235-242.

【要旨】持続感染を成立させるようなウイルスなどの病原体が感染した細胞内では、様々なオルガネラの機能を兼ね備えた“複製オルガラ”と呼ばれる特殊な構造体が形成され、病原体はその中で自己複製を行う。特にプラス鎖RNAウイルスであるフラビウイルスは、自身のコードする因子を介して宿主の膜変形制御因子を小胞体膜の一部に集結させ複製オルガネラを形成する。我々はこれまでに、デングウイルス(DENV)または日本脳炎ウイルス(JEV)感染細胞より抽出した複製オルガネラの網羅的プロテオーム解析とsiRNAによる機能スクリーニングにより、複製オルガネラに特異的にリクルートされ、ウイルスの増殖に必須な複数の宿主因子を同定してきた。本セミナーでは、我々がこれまでに同定した宿主因子群の機能解析より明らかになった複製オルガネラの形態学的特徴と宿主因子群の役割について紹介する。

本研究会では、細胞生物学的なアプローチによる疾患研究を推進している研究者を講師として招き、疾患発症メカニズムや治療法開発についての理解を深める機会を創出します。本研究会への皆様のご参加をお待ちしております。他部局の方のご参加も歓迎いたします。

- 本セミナーは、徳島大学先端酵素学研究所「共同利用・共同研究」拠点事業のサポートにより行われます。
- 本セミナーは、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。

連絡先

先端酵素学研究所 炎症生物学分野
齊藤 達哉 (内線2540)

saitohtatsuya@tokushima-u.ac.jp